

# 高次脳機能障害のある方への 移動支援

特定非営利活動法人

なごみテラシマ

理事長 寺島 康子

# 法人概要

- ・平成24年8月NPO法人設立
- ・目的: 地域住民が「いつまでも自分らしく安心して」暮らせる街づくりに貢献するため、市民、地域、企業などとの連携ネットワークを構築し、活動して行くこと。
- ・スタッフ: 13名
- ・車両: 車いす用3台、登録スタッフ車両7台

# 主な事業

- ・高齢者・障害者への福祉サービス

## 移送サービス

- ・地域ふれあい推進

地域住民とのふれあいの場作り

活動グループとの連携

- ・市の心身障害児(者)生活サポート事業に登録

平日の日中は、家族は働いているため医療機関や施設への送迎ができない。

移送サービスを希望する人が多い。

# 移送サービス

日時：9時～17時

内容：送迎（買い物、食事、通院、役所、銀行、美容院、  
その他の外出）  
見守り、一時預かり等

範囲：原則市内（応相談）

対象：1. 障害者手帳所有の方  
2. その他の方

料金等：1. 障害者手帳所有の方 750円／時間  
2. その他の方 2,000円／時間

※市外は別途ガソリン代要

# 活動実績(平成27年度)

## 移送サービス

会員数: 103名(手帳あり52名、なし51名)

利用回数: 1,966回(通院1,870回、買い物96回)

\* 平成28年9月現在126名(手帳あり61名、なし65名)

## 地域ふれあい推進



灯の川(10月)



狭山市駅前イルミネーション(11月~2月)

# 利用事例

Aさん男性 50代

- 転落による頭部外傷、左下肢切断、失語（単語～2語文＋絵図で簡単な理解）、介護拒否、収集癖
- 身体障害者手帳1級
- 受傷前に離婚、連絡の取れる家族なし
- 後見人2名（弁護士、行政書士）
- 受傷後の経過：病院→有料老人ホーム  
→障害者支援施設入所

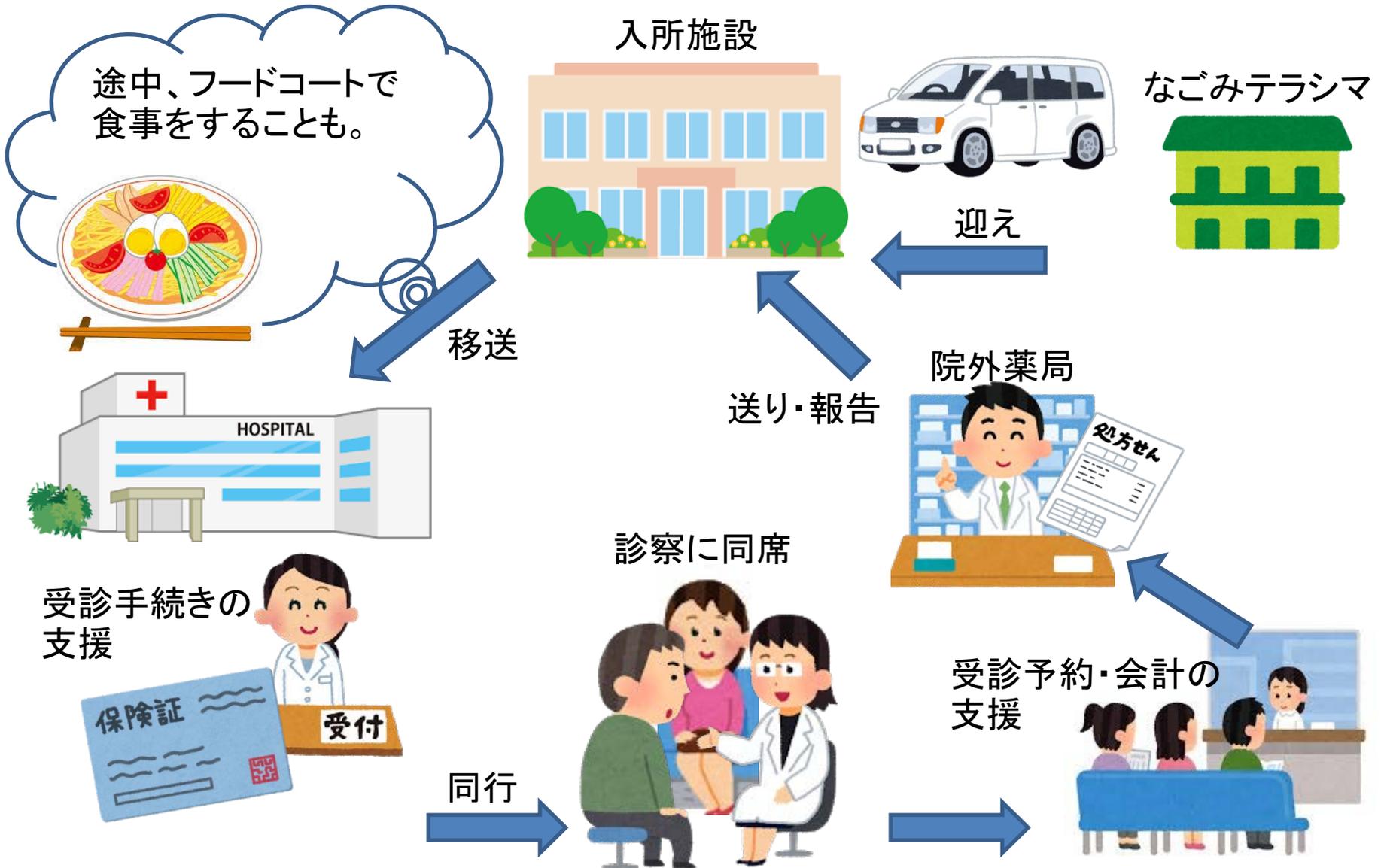
## ・移動支援利用開始のきっかけ

老人ホームにて、トイレトペーパーや使用済ペーパータオル収集、入浴拒否、介護者への噛みつきなどがあり、ケース会議でストレス発散目的の外出案が出た→当NPOに相談があった。

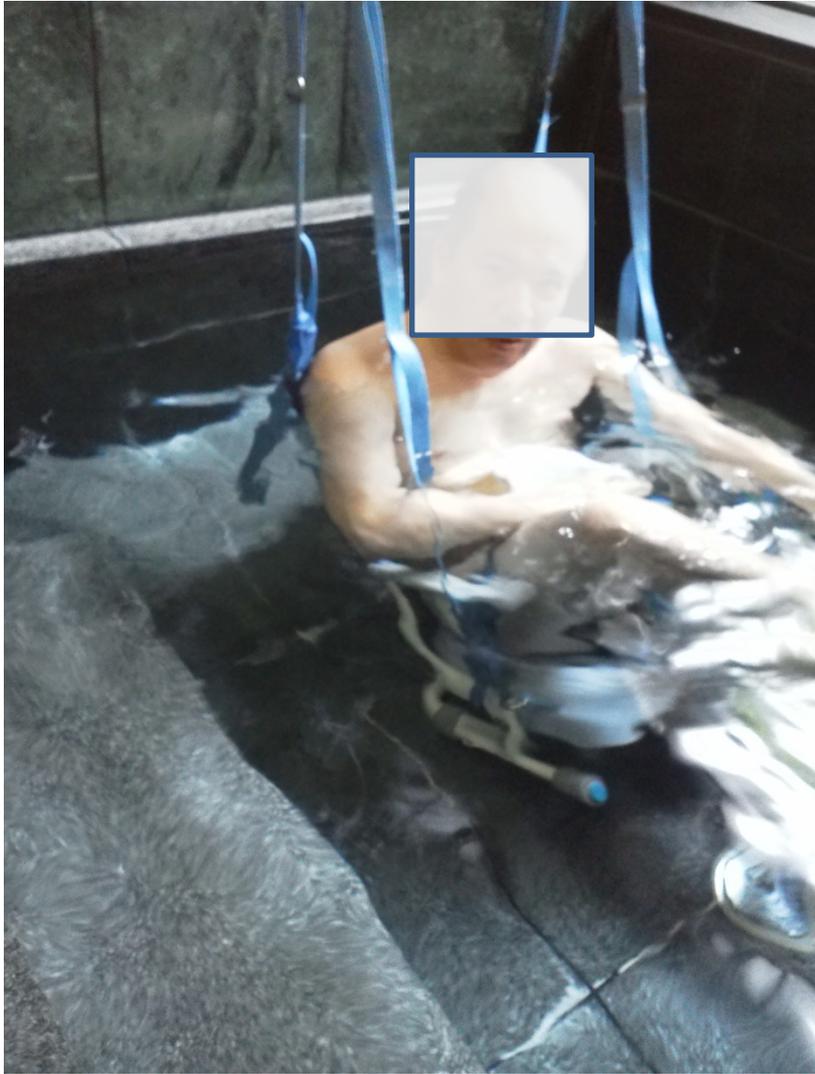
## ・利用状況：入所施設と下記の往復

病院内科(2か所の医療機関)	1~2か月に1回
病院言語療法(1回40分間)	2週に1回
工房(市の地域活動支援事業)	週2回
休暇村日帰り入浴	月1回

# 通院の送迎は、ただ車で移動するだけではなく・・・



## 休暇村にて



移動支援を利用して外出の機会を増やしたところ、入所施設内での収集や入浴・介護拒否は見られなくなった。

リフトを借りて日帰り入浴

# 心がけていること

- 利用者本人の要望を聞き、できるだけ沿うようにする。
- ことばでの意思疎通が難しい場合でも、身振りや写真を使いながら、ゆっくり根気よく確認すれば伝えあうことができる。
- 後見人、主治医、入所施設、市役所等と密に連絡をとり、関係性を築く。
- その人らしい生き方是何か、何をしているときに生き生きしているか、を探りながら手助けをする。